



NIPPON BEARING

3月24日付 日本経済新聞広告 回答と解説

【問題】 ベアリングの語源となった言葉は？

- ① 滑らか ② 支える ③ 運ぶ

【答え】 ② 支える

【解説】

正解は、② 支える です。

ベアリング (bearing) の語源となった言葉は、英語の bear (支える) と言われています。

ベアリングは物を移動させる際、その荷重を『支え』、摩擦を減らすために働いていますので、『支える』という言葉が語源であることは合点がいきます。

尚、bear には、広義の解釈として『運ぶ』という意味も含まれていますので、③の運ぶも語源の一部と言えるかも知れません。

いずれにしても、縁の下の力持ちとして活躍しているベアリングの語源としては、納得いくものですね。

ところが日本では、ベアリング=軸受 と思っている人々が多くいます。

これは近代になって、機械部品としてのベアリングが日本に輸入された際、回転運動を支える軸受をベアリングと紹介したことが原因だと考えられます。

ベアリングの本来の意味である、『摩擦を軽減しながら荷重を支える (運ぶ) もの』だとすれば、軸受はベアリングの中の一部にしかすぎません。

回転運動を支えるものも、直動運動を支えるものも、どちらもベアリングなのですね。

1910年頃、工業製品としてのベアリングが初めて日本に輸入されました。

その後、1916年には日本製のベアリング第一号が製造されます。

そして現在、日本はベアリング生産大国となりました。

ベアリングは、精密さや正確さが求められる機械部品です。そして、目立たないところで力を発揮する存在でもあります。

日本人の手先の器用さや細やかさ、そこに加えられる奥ゆかしさ。

ベアリングと日本人は似たもの同士だからこそ、ベアリング生産大国になれたのかも知れません。

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】